

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより  
逢いてエ

# 雑報 文

いろいろ差えがあつた面白い  
いろんな人がいるのが楽しい

No. 596

2021年9月 **夕刊**

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- 福一ノ号機ICの津波前運転問 <sup>19-22</sup> 2
- デジタル化 信頼を大切に 5
- 感染したら、すぐ漢方薬 6
- 「夜と霧」「死は最後で最大のときめき」 8
- 古便利から 12
- 山仕事 (8月、大平) 16
- 言葉なき芳名録の悲しみ 19
- 女性差別は伝統か 20
- それで変わるの? ・ 里子ちぢ 24
- コロナ日誌 25



△19%

8月31日現在の  
会員数227名

最終稿

佐藤 正明

9月5日(東京)

2021.9.5

題 字 救 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)  
カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、遺贈品

# 山仕事 (8月, 大平)

8月24日(火)。天浜線敷地駅に着くと、いつもの正士、又米さんのほかに男性の姿が。この日、作業に参加してくれることになった古橋さんだ。さらに、駅舎を出たところで、マスク越しながら見覚えのある顔が。尾上美智子さん(春野町)だった。畑どくれた沢山の野菜と蜂蜜、お酒を持ってきて下さったのだ。いつもありがとうございます。

この日の作業は、ソバ畑①でタネまき、撈拌、そしてハトよけのキラキラテープ張り。一昨年、タネまきでミソをつけた頃は、土手の草刈りと石拾いにまわる。



タネをまく原田さん



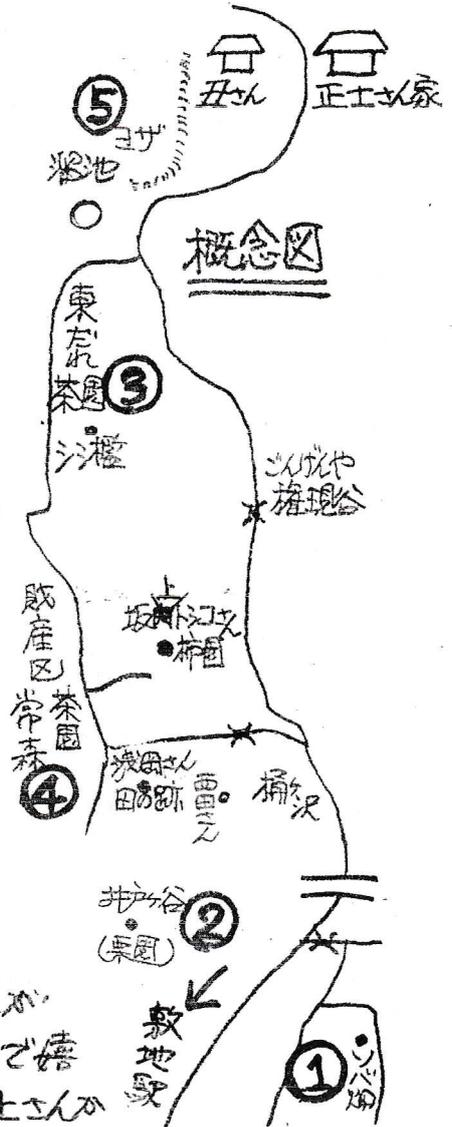
撈拌する古橋さん

(夕食) カツオの刺身、アナゴとクジの一夜干し(英古川持参)、ナスの煮浸し、蒸し(焼き?)ナスのシソが巻、ゴーヤチャンプル、ゴーヤの佃煮、こんにやくとニンニクのピリ辛炒め、モズク。そして、正士さんの手打ちソバを又米さんのだしとかけして。



賤調査員とのこと。仲間になってくれるとよいが。

8月25日(水)。まぶ晴れ。午前、井戸谷のクリ園②の草刈り。

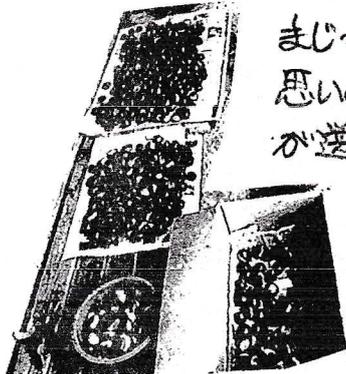


野菜が、いっぱい嬉しい。尾上さんか。いただいたお酒は、秋の月見酒「花の舞」山田錦純米吟醸酒。それもノ开ビンに4合ビン2本。

古橋さん(写真左端)は、お隣り茨北(現茨松市)の住まい。文化



みると、去年は皆無だったクリの実が、今年はたくさん付いている。その一部はもう実み始めている。草刈りを終えたところで、康江さん又米さんも一緒にクリ拾い。まだ落ちていない実は少なく、葉を煮やしたインシが折った枝があちこちに。山梨採りが好きな英ちゃんは、木に登って揺さぶる。バラバラと落ちる音に



まじって、「アイタッ」の声も。思いのほか多く採れ、久米さんが選んでくれたのが左。次回

も収穫がありそうだ。  
(登)ソ-メン、冷やレマト、紀文の玉ネギ天。

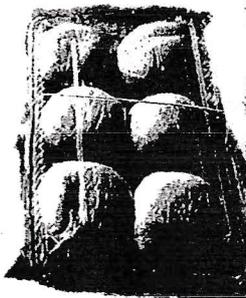


午後は、東重れ③と常森④ 2ヶ所の茶園で草刈りと油粕まき、そして耕耘。



油粕をまく英ちゃん

草刈りが終わった畝間に油粕まき、そのあとを正士さんが管理機で耕やしていく。



お饅頭の一部



ひと休みしてお饅頭をいただく。「正士さん、おかあさん、みなさん お元気で」とのメッセージが入っていた。この日、作業未了。



厨房での康江さん

(夕食) 豚ロースのミルフィーユカツ、ホタテのムニエルバジルソース添え、ソ-メンカボチャ、ゴーヤーチャンプル、ナスとピーマンの味噌炒め、キヌワリとナスの浅漬けに、おそば。

近頃、料理がやわらかい...の音が、「皆無し」のほくちぎりにしひいで。手強いのは、胃袋に「あとは頼んだよ」と送りこむから。

8月26日(木)、晴れて暑い。

茶園作業の続きで、久米さんと山崎さんが茶樹の間から伸びているワラビなどの草とり。



正士さんは耕耘の続き。

その間、英ちゃんとはくは、ヨザ⑤の草刈り。✓ 英ちゃん



ツツジをおおうツル草とり  
↓ ぼく



茶園の作業は終了したが、ヨザの草刈りは時間切れで上部を刈り残す。

(昼) 冷やし中華、カボチャの煮物、冷や奴、ピマン炒め煮。

尾上さんの野菜を各自土産に。別れ際、わぐちゃんが二人のお子と。

ぼくは始めて、お母さんの手を握り、別れの挨拶をした。お母さんは初めて、「こんど、いつ来てくれるの」と言ふ。

朝、母屋に行って新聞を読んでいると、お母さんの嘆きが多くなった。「耳はきこえんし、何もできなくなつた」と。

これまで、天竜川沿いの平場から山里に嫁し、慣れる山仕事など苦勞されたことだらう。さんご作業と家事をこなし、人一倍働いてきたのに、今は自分の身体が思うに任せぬことが旨く、我慢ができないのだらう。

でもお母さん、あなたはこれまで十二分に働いてきたのだから、もうひとに任せて安気に通ごされたらどうですか。そう思うと気が楽になりますよ。



風通しのよいところで昼食

次ページに、正士さんのお便りが。(行間が広く、1ページを占めるので) 誌面節約のため書き写しました。

◆ 毎日暑い日が続きますね!

8/24~26暑い中、沢山の仕事をこなして頂きありがとうございました。

ソバ播き、土寄せ、石拾い、防鳥テープ張り、栗園の草刈り、栗拾い、茶園草刈り、ツル取り、施肥、豊橋鈴木さんの荒れ地ツツジのツル取り、ヨザ斜面の草刈り等々、一人でやっていたのであればとても埒はあきませんが、皆さんのおかげで無事完了しました。炎天で猛暑の中、本当に助かりました。ありがとうございました。

それから、袴田克臣(かつみ)さんよりブルーベリービール本の差入がありました。皆さんで味見してくださいとのこと、甘口でジュースみたいな感じでした。私には飲みやすくおいしくいただきました。

尾上さんから、いろいろ自家野菜と自宅で採れた蜂蜜、それにお酒を沢山頂きました。

肉田美智子さんより、おいしいお饅頭をお送りいただきました。

皆さんありがとうございました。

これからも暑い日が続きます。熱中症と3Dナにはくれぐれもご注意ください。

鈴木正士さん